

届け出る特定施設について、それぞれ記載してください。

特定施設の構造

所有している特定施設の「通し番号と任意の名称」をお書きください

工場又は事業場における施設番号	1 装置	2 東棟ちゅう房
特定施設番号及び名称	6 5	6 6 - 4
型 式	高速処理 型	『工場・事業場排水と公共下水道』 p.5~11 の表中の該当する番号をお書きください。
構 造	ステンレス製二槽構造	
主 要 寸 法	9 0 × 1 8 0 × 8 5 (c m)	1 2 × 1 8 (m)
能 力	3 0 kg / 時	3 0 0 食 / 日
配 置	添付 A - 1 図のとおり	添付 B 図のとおり
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	令和 年 月 日	令和 年 月 日
工事完成予定年月日	令和 年 月 日	令和 年 月 日
使用開始予定年月日	令和 年 月 日	令和 年 月 日
その他参考となるべき事項	<p>「設置年月日」は、特定施設が既に設置されている場合にお書きください。使用届出書及び構造変更届出書では記入が必要です。 なお、設置届出書では記入は不要です。</p>	

備考 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

別紙 2

別図で示すか、
 でお書きください。

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設の種類	1 装置	2 東棟ちゅう房			
特定施設の種類及び名称	6 5	6 6 - 4			
設置場所	添付 A - 1 図のとおり	添付 B 図のとおり			
操業の系統	添付 A - 2 図のとおり	原料受入 調理 検査 包装 出荷			
使用時間間隔	8 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0	4 : 0 0 ~ 2 3 : 0 0			
1 日当たりの使用時間	8 時間	1 9 時間			
使用の季節的変動	あり 夏季は週 6 日 冬季は週 3 日	なし			
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び 1 日当たりの使用量	処理液・仕上げ液 浸漬及び洗浄(自動) 各 2 0 リットル	食品一般 調理 2 0 0 食分			
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	1 2	1 2	7	7
	亜鉛	1 . 0	8 . 0		
	鉛	0 . 0 1	0 . 1 5		
	B O D			3 0 0	5 0 0
	S S			3 0 0	5 0 0
	n-ヘキサン抽出物質			1 0	1 5
汚水等の量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	最大	
	0 . 0 2	0 . 0 3	1 0	1 5	
その他参考となるべき事項	全量を回収し、産廃業者に委託する。				

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

「設置年月日」は、処理施設が既に設置されている場合にお書きください。使用届出書及び構造変更届出書では記入が必要です。

汚水等の処理の方法

工場又は事業 おける施設	1 装置				2 東棟ちゅう房				
処理施設の設置場所	添付A - 2図のとおり				添付B図のとおり				
設置年月日	年 月 日				年 月 日				
工事着手予定年月日	令和 年 月 日				令和 年 月 日				
工事完成予定年月日	令和 年 月 日				令和 年 月 日				
使用開始予定年月日	令和 年 月 日				令和 年 月 日				
種類及び型式	廃液回収施設 高速処理 型用				沈殿槽 3槽式				
構造	ポリタンク				コンクリート製 樹脂塗装				
主要寸法	900×900×500 (mm)				900×1200×900 (mm)				
能力					50				
処理の方式	全量回収・貯蔵				沈殿・分離				
処理の系統	添付C図のとおり				添付D図のとおり				
集水及び導水の方法	直結				添付D図のとおり				
使用時間間隔	8 : 30 ~ 17 : 00				終日				
1日当たりの使用時間	8時間				終日				
使用の季節変動	あり 夏季は週6日 冬季は週3日				なし				
消耗資材の 1日当たりの 用途別使用量	なし				なし				
汚水等の 汚染状態 及び 量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	12	全量 回収	12	全量 回収	7	7	7	7
	亜鉛	1.0		8.0					
	鉛	0.01		0.15					
	BOD					300	100	500	100
	SS					300	100	500	100
n-ヘキサン抽出物質					10	5	15	5	
量 (m ³ /日)	0		0		10		15		
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	0.4 t 業者回収 (企画株)				2 t				
排出水の排出方法	排出しない				下水道に放流				
その他参考となるべき事項									

- 備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。
2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		1 装置		2 東棟ちゅう房	
排水水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	全量回収	全量回収	7	7
	亜鉛				
	鉛				
	BOD			100	100
	SS			100	100
n-ヘキサン抽出物質			5	5	
排水水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		0	0	10	15
その他参考となるべき事項					

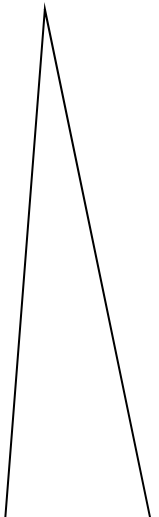
備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

使用している排水系統ごとにお書きください。

下水道に排除する下水の量及び水質

排水口の別		南側排水口		北側排水口	
水質	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	7	7	7	7
	BOD	60	100	60	100
	SS	60	100	60	100
	n-ヘキサン抽出物質			5	5
下水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		3	5	15	20

用水及び排水の系統

用水及び排水の系統			
			
<p>別図を添付するか、このページに平面図やフロー図でお示しください。 「雨水」についても、必ずお示しください。</p>			
用途別 用水使用量	用途	使用水	用水使用量 (m ³ /日)
	ボイラー水	水道水	8 (蒸発)
	原料用水	水道水	3 (出荷)
	洗浄用水	水道水	10
	生活用水	水道水	5
	消雪用水 (降雪時のみ)	井水	(雨水へ)
	合計		26

「生活用水」は、従業員の便所や給湯室などの分です。だいたい3～4人で1m³/日(24時間)程度です。

別紙 4 『下水の量』と別紙 6 『用水使用量』について

蒸発分や出荷分などを除くと、用水量と下水の量の合計は同じ値になります。この場合は、用水量合計 26 のうち、8 が蒸発、3 が出荷です。つまり、別紙 4 「公共下水道に排除する下水の量及び水質」の『下水の量』は、 $26 - 8 - 3 = 15$ で、洗浄用水と生活用水の分の 15 ということになります。

用水量の算出には、上水道の検針伝票(通常は2か月に1度)をご覧ください。稼働日数で割れば1日分の平均用水量になります。

参 考 資 料

資 本 額	円	従 業 員 数	(その事業場の勤務者) 人
主 要 製 品	(その事業場の製品)	操 業 時 間	(その事業場の操業時間帯) : ~ :
総務省の日本標準産業分類によります。不明の場合にはご相談ください。	業 種 名	敷 地 面 積	(その事業場について) m ²
		建 物 面 積	(その事業場について) m ²
付 近 見 取 図 (案内図)	下 記 の と お り ・ 別 添 の と お り	電 話 番 号	水質管理責任者 設備の維持管理担当者 等 を呼び出せる電話番号
付近の地図をお願いします。 市街図のコピーでも結構です。	水質管理責任者 設備の維持管理担当者 等 の所属部署名	担 当 者	水質管理責任者 設備の維持管理担当者 等 のお名前

届 出 に 係 る 履 歴

施 設 番 号	届 出 の 根 拠	受 理 年 月 日	届 出 の 概 要
	第 条	年 月	
	第 条	年 月 日	
	第 条	年 月 日	
	第 条	年 月 日	
	第 条	年 月 日	
	第 条	年 月 日	
	第 条	年 月 日	
	第 条	年 月 日	以 下 別 紙

新規の届出の場合には、履歴の記載は不要です。

主要機械の配置及び用・排水経路

(図 面)

この用紙を使用する必要はありません。
既存の図面やカタログがあれば、そのコピーで結構です。
図の枚数や番号に制限はありません。
必要な図面を添付し、「第 図」などとしてお示してください。

配置図には、特定施設以外の主要機器もご記入ください。

特定施設は、着色などによりわかりやすくお示してください。
用水と排水は、色分けしてお示してください。

注意

- 1 図面は道路を含めた事業所全体の概略図とすること。
- 2 特定施設と処理施設は()等で明示すること。
- 3 用水と排水経路は色又は実線と点線により区別すること。